

## 第4回匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議録

開催日時
平成 28 年 1 月 28 日 10 : 00 ~ 12 : 10
開催場所
匝瑳市役所議会棟第 2 委員会室
出席者
委員長 鎌田元弘 副委員長 椎名嘉寛 委員 八角勝義、田邊久利、大塚榮一、浅井茂、長谷川茂、福井敬、 加瀬功一  (事務局) 企画課：太田課長、大木主幹、伊藤主任主事 キタイ設計：田中、平櫛
欠席者
岩井清、伊藤充児、熱田信之、江波戸友美

協議内容
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 あいさつ</li><li>3 議事<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 匝瑳市人口ビジョン(案)について</li><li>(2) 匝瑳市総合戦略(案)について</li><li>(3) その他</li></ol></li><li>4 閉 会</li></ol> <p>【議事内容】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 匝瑳市人口ビジョン(案)について、資料に基づき事務局から説明した。</li><li>(2) 匝瑳市総合戦略(案)について、資料に基づき事務局から説明した。</li></ol> <p>《質 疑》</p> <p>委員長：御意見や御指摘等ありましたらお願いします。</p> <p>委 員：具体的な事業が数え切れないほど出てきていますが、今の匝瑳市の体制で実施できるのか不安です。加えて地方創生加速化交付金に係る事業を追加するとなると、何を重点的に進めるのか見えなくなっていると思いますが、いかがでしょうか。</p>

## 協 議 内 容

事務局：確かに、数値目標やK P Iを示す中で、具体的な施策や事業を数多く掲載しております。御承知のように本計画の計画期間は平成27年度から5年間となっており、既に1年が経過しています。そのため、具体的施策の中には既に実施しているものもあります。さらに、国からの地方創生先行型交付金を活用し、取組を始めている事業もあり、65ページに記載があるように、子ども医療費の無料化、チャイルドシート購入費用の助成、乳幼児検診の費用一部の充当、保健センターのトイレの改修費用に充て、地方創生に取り組んでおります。また、国のさらなる対応として補正予算で地方創生加速化交付金が創設され、1000億円の規模で予算計上されています。本交付金は事業費全額が国費負担であり、植木の輸出や観光に係る部分について活用を検討しています。国や県との調整がつけば、市の今年度の補正予算に計上し、来年度以降取組を進めていきます。どこを軸に取り組んでいくかという点については、地方創生の三本柱（まち・ひと・しごと）のうち、「雇用の場が少ない」、「子育てについて力を入れておく必要がある」などのワークショップの意見を踏まえ、市の内部で調整を行い、仕事をつくる、そして人口減少を抑えるという点を最も重点的に考えています。

事務局：総合戦略の上位計画として総合計画後期基本計画があり、同時進行で策定を進めています。総合戦略の施策については、総合計画後期基本計画とリンクしており、今後4年間で進めていきます。K P Iも総合計画後期基本計画の数値目標とリンクしています。

委 員：匝瑳市の産業別就業人口が示されました。農業人口が減少し、サービス業に就業する人口が増加している中で今後どのような事業が匝瑳市で発展していく可能性があるとお考えですか。

事務局：生涯活躍のまちづくりを進める中で、福祉・介護サービスの雇用が発生してくると見込んでいます。また匝瑳市の植木に関する伝統技術を承継する若者を新たに育てるとともに、盆栽がヨーロッパで人気になっていることを生かして、雇用の創出につなげたいと考えています。農業のもつポテンシャルは大きいと思います。さらに観光面についても、今後は海外の観光客を増やし、交流人口が増加する中で、定住人口を増やしていきたいと考えております。

委 員：行政のヒト・モノ・カネが減っていく中で、具体的な事業を実施するのは難しいのではないのでしょうか。行政にも限界があるので、自由に動ける新しい組織(企業・N P O)をつくっていく必要があります。できないことを言ってもしょうがない。例えば、空き家バンクも機能しているかといふとなかなか難しい。さらに企業誘致よりは起業支援を考えた方がよい。将来をつくっていくために、もっと積極的にやらないといけません。匝瑳市の特色や個性を生かし、行政だけで解

## 協 議 内 容

決するのではなく、もっと一般市民を巻き込んで全体で考えていかな  
いといけません。ワクワク感やロマンが欲しいです。

委員長：その点は重要ですね。資料の推進体制にNPOや市民団体、事業者が  
位置づけられていないため、行政で閉じているように見えてしまいま  
す。そうさ！！匝瑳でつながろうとあるように、市民会議が今後関係  
者をつなげていくように改良すると生き生きとしてくると思います。

委 員：市民への周知についてどのように考えていますか。

事務局：市民や事業者への周知が非常に大切と考えています。総合戦略が完成  
した際には、広報やホームページで周知するとともに、関係事業者へ  
アプローチをしていきます。

委 員：ガーデンコミュニティについて、農林業を中心としたというイメージ  
に近いと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局：庭のようなくつろぎや人の集まり、交流の場、コミュニティ活動等か  
らガーデンコミュニティという言葉を使っています。

委 員：市民向けのキャッチフレーズでしょうか。

事務局：対外的にも使っていきます。

委 員：キャッチフレーズについて、少しわかりにくいと思います。はたして  
市民に意味が伝わるのか疑問です。企業誘致について、大きな企業を  
誘致しないと目に見えた効果は出ないと考えます。例えば、従業員数  
300人以上とすると、みどり平工業団地では賄えません。50年後  
を見据えると、ロボット開発が進展し、人が必要なくなるのではとも  
考えられます。また、他の委員の発言にもありましたが、戦略的  
を絞る必要があると思います。さらに、本日お集まりの委員の中には、  
他の会議の委員を兼ねている方もいると思います。横の連携はとれて  
いるのでしょうか、施策の優先順位は整理できているのでしょうか、  
進捗状況について一元管理できているのでしょうか。

事務局：雇用効果が高いものとして、介護・福祉産業などが挙げられると考  
えます。企業誘致については時代で変化していきます。大きな企業を誘  
致できないという場所の問題がありますが、四国の神山町のようにサ  
テライトオフィスでまちが活性化しているという事例もあります。  
可能性を探りながら企業誘致について検討していきたいと思  
います。施策の優先順位について、計画策定の段階では位置づけが難  
しく、予算化等事業実施段階において、市長の考え方、市民ニーズに  
基づき優先度を決定していくというプロセスになります。効果検証に  
ついては、PDCAサイクルをまわし、計画通り進んでいるか検証し、  
遅れていればなぜ遅れているのか検証し、事業が確実に  
行われるよう取り組みます。予算の範囲内で優先順位をつけながら、  
市民が良かったと思える取組を加速化していきます。

委 員：事業の進捗・効果検証について、見ることは可能ですか。

## 協 議 内 容

事務局：ホームページで主要個別事業評価の結果を公表しています。また、行政評価制度のシステム化を検討しております。市民の意見を踏まえながら取り組み、第三者の立場からの事業評価ができるようにしていきたいと思います。

委 員：人口減少により、集落の維持ができなくなってくると思います。まちなかが寂れる、住んでいる地域が維持できなくなる、そういったことが一番の問題です。正直、人口を増やすことはできないと思いますが、人口が減っても住みやすい地域を作っていくのが良いと思います。例えば、両親が共働きでも、帰ってくるまで子どもを預かってくれる、そういった地道な取組が大切だと思います。他市との差別化の観点からは、学校の校庭を芝生化する等が考えられます。また、市役所の裏に芝生公園ができましたが、パークゴルフ場にして、利用者が芝管理をするなどすれば、協働社会という気がするし、費用がかからず済むと思います。

事務局：匝瑳市も人口減少が進行し、消滅可能性都市の1つとなっています。また、日本全体が人口減少社会に突入しており、人口減少を克服するのは大変厳しくなっています。校庭の芝生化については、市の特徴を出すためには有効であると思いますが、管理をどうするのかという問題もあります。委員から御提案あったことは、教育委員会に伝えたいと思います。

委 員：高齢者が増えるため、機械を用意し、高齢者に管理をしてもらうなどの方法が考えられると思います。

事務局：現在市民協働指針を策定しております。様々な協働の形態がありますので、どのようなことができるのか、皆さんから意見を頂いて、職員・市民それぞれが何をするのかといったところから議論をして意識改革をしていきたいと思います。

委員長：国の予算をうまく活用しながら、市民の力を生かして、今できるところから取組を進めていくことが大切です。70ページにある推進体制の仕組み自体を見直し、様々な主体をつないで考えると良いと思います。

委 員：人口減少社会の中で人口を増やすことは難しいですが、雇用は重要であると考えます。企業誘致は雇用も生まれ、人口も増えます。58ページにある地域外からの企業誘致の推進について、企業誘致条例の概略を教えてください。

事務局：市内に工場や事業所の新設又は増設を行った企業に対し、一定の条件のもと、5年間固定資産税の課税を免除するというものです。

委 員：大切なことだと思います。さらに充実させ、企業が入りやすい体制をつくるべきだと思います。総合計画との関係で、総合戦略の位置づけはどうなっているか。

## 協議内容

事務局：総合計画後期基本計画の中に地方創生の部分を新たに書き加えています。

委員：総合戦略の各施策について担当課があり、それぞれの担当課で推進していくという理解で良いですね。

事務局：庁内組織である匝瑳市まち・ひと・しごと創生本部では、全課長により検討し、庁内全体で意思統一を図っていきます。

委員：施策の多くが現在各課において進められているものになっています。各課が目標を掲げて進めることになると思いますので、各課に市民会議の内容を伝えて努力してほしいと思います。

事務局：全体の進行管理を行いながら、効果検証を行いつつ、各課長に伝えていきたいと思います。

委員：63ページのKPIについて、ハード面だけでなくソフト面についても言及してみてもはどうでしょうか。また、介護サービスに関する指標が入っても良いかと思います。

事務局：検討させていただきます。雇用創出とつながる部分もあると思いますので、新規就業者数や移住者数等の指標についても検討します。

委員：総合戦略を市民に見てくださいと言っても、浸透しにくいと思います。予算編成後に具体的な事業が決まったとき、総合戦略に位置づけた事業として平成28年度は具体的何を行うのかということ、をA3用紙1枚程度で市民に示した方が良いと思います。また、PDCAサイクルの進行管理について、例えば10代～30代の年代別の市民に総合戦略の具体的事業に対する意見を集め、次につなげると良いと思います。

委員長：概要版やパンフレット等わかりやすいものですね。若者の意見を集める仕組みに対する御提案でした。

事務局：概要版やパンフレットについては、現段階で予定していません。広報での周知については、総合戦略、総合計画、市民協働指針の3つを同時に策定しているため、紙面に余裕がないかもしれません。ホームページではわかりやすい形で示していきたいと思います。推進体制について、市民会議では今後の効果検証も行うことになっており、委嘱期間についても2年となっており、策定して終わりということではありません。また、若者の意見についてもパブリックコメント等での対応を考えております。

委員長：総合戦略、総合計画、市民協働指針それぞれの位置関係や、市民との連携付けについても示す方がわかりやすいと思います。

委員：若者が地元に残る傾向になっていると聞いたことがあります。大学卒業後、東京に就職して、早い場合は5年程度で戻ってきているケース

## 協議内容

もあり、今まで考えられなかった現象が起きている。高速道路の匝瑳市までの延長、成田空港の第3ターミナル建設などにより、雇用の場は増えると思います。3年前に長野の道の駅に行きましたが、そこは3,700人程度の村で、年間600人の集客があるということでした。雇用の形が変わってきていると思います。また、九十九里ホームの介護施設を生かして、都会の高齢者を呼び込めば、雇用につながります。観光においては、高速道路整備等により、今まで遠かった場所が身近になってきているため、民泊等宿泊する場所が必要になります。さらに、小規模企業振興基本法の改正により、商工会に属している人が助成等を受けて、創業支援ができるようになっていきます。

委員長：市でも高速道路や成田空港、アクアライン等をうまく使い、各位の人脈や発想を生かしていただければと思います。各委員から細かい意見がありましたが、どのように市民に広げていくか、PDCAサイクルだけではなくもう少し先を見据えた記載があると良いと思います。総合計画との関係の中で変えにくい部分があると思いますが、今後の考え方や広げ方を柔軟に考えていただければと思います。委員の皆様からこれだけは言っておきたいことはありますか。

委員：スケールアップしてはいかがでしょうか。例えば、エネルギー関係については言及されていません。匝瑳市から撤退する企業を増やさないため、経済が地域で循環するためには地元で何かを買うことが必要で、行政ではできません。1つ組織をつくって、そこが言えば良いと思います。八日市場全体の経済を活性化しなければいけません。地元が地元の企業を育てるように考えないといけません。行政ではできないため、どこがどうするかがポイントになります。

委員：900人程度がみどり平工業団地に勤めていて、9割方が近隣に住んでいます。また、広報をどれくらい若者が読んでいると思いますか。所得が厳しいと新聞を取らないため、インターネットでしか見ません。実際に聞いたところ、若者はインターネットや広報は見えていません。若者に情報が行きわたっていない状況です。みどり平工業団地の中で、お手伝いできる程度で、若者の声の集約に取り組んでも良いと思います。商工会の若手の経営者に伝えることもできると思います。

事務局：SNSを活用している若者が多いため、匝瑳市のツイッターを通して情報発信していきたいと思います。

委員長：行政と若者が情報発信するのでは、広がり方が違うと思います。その他、事務局からありますか。

### (3) その他

事務局：今回の市民会議が、総合戦略策定として最後になります。今後は2月にパブリックコメントを実施し、3月の市議会、本部会議において最

## 協 議 内 容

終決定となります。委員の皆様には、総合戦略の成果物を送付いたします。また、任期の間は効果検証等で引き続きお世話になると思しますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

以 上